

令和4年度豪州多文化主義

政策交流プログラム



2018年度プログラムの参加者



2019年度プログラムの参加者

毎年、クレア多文化共生課とシドニー事務所ではオーストラリアにおける多文化共生施策を学ぶ交流プログラムを実施しており、参加者からは大変好評のお声をいただいております。みなさんもぜひ参加してオーストラリアにおける多文化共生政策を学びませんか。詳しくは自治体国際化協会多文化共生課（03-5213-1725）

2019年度メルボルン研修参加者 近藤花映さん (愛知県国際交流協会)

研修をとおして多文化施策の最新事例を目の当たりにするだけでなく、その後の仕事に活かされる繋がりができ、仕事をしていく際に相談できたり、状況を聴いたりできる仲間同士のネットワークができることにも意義のある研修だと思います。

例えば今回、新型コロナウイルスについて注意喚起が行われた初期段階において、クレアが多言語情報テンプレートを作成する際、ネットワークを通じて素早く連携し、外国人に分かりやすい表現や伝え方のチェック等に協力することができ、スピーディーな対応ができたと思っています。



新型コロナウイルスの予防について、いち早く多言語で情報提供～多言語資料を自治体、協会、医療関係者の参加者のネットワークで作成



2018年度シドニー研修参加者 戸原克直さん (堺市消防局)

研修に参加した翌年、“Furies Climb For Motor Neuron Disease”というオーストラリアと周辺国の消防士600人が集まる難病支援のチャリティーイベントに招待され、日本人として初めて参加しました。オーストラリア人の多文化主義の根幹には、立場、人種、文化を越え、困っている人に手を差し伸べる”Mate ship”と呼ばれる気質があり、このイベントを通じて彼らの絆、寛容さ、そして優しさを強く実感しました。私も”Mate”と認められ、多くの現地の消防士や医療関係者達と深い友情が結ばれたことは本当に幸せなことと感じています。このような千載一遇の機会や貴重な人脈が得られるのもこの研修の大きな魅力だと私は思います。



2019年度訪問施設 Colin T Campbellさん (Metropolitan Fire Brigade)

We were honoured to have Participants attend the 2019 tour of MFB to further their Multicultural learning's. The Study tours through CLAIR are well run and provide participants with many options to explore the ways that Australian agencies and local government manage Multicultural engagement opportunities. We welcome any chance to strengthen our ties with CLAIR and delegates of study tours. I believe Australia leads the way in Multicultural community engagement and we pride ourselves on helping all who want to learn. Anyone considering sending delegates along to a study tour will benefit from the learning's they will receive and connections to further improve relationships once back in Japan.

(抄訳) 2019年度のセミナー参加者がMFBやその他の施設で多文化政策を学んでいたことをとても光栄に感じています。クレアのセミナーはとてもよくできており、オーストラリアの自治体等が行う多文化政策の優良事例を紹介し、さらには、クレア、参加者、私たちのきずなを深めます。オーストラリアは多文化コミュニティ政策の中心を担っており、学びに来るすべての人の役に立つと誇りを持って言えます。このセミナーに参加者を派遣した団体は、参加者が得た知識、ネットワークから恩恵を受けることができると確信しています。

令和4年度豪州多文化主義政策交流

プログラムについて

行き先：メルボルン都市圏
2022年11月14日(月)～19日(土)

研修の目的

多様な背景を持つ外国人材の社会参加を成長の原動力として発展するオーストラリアでは、州政府と基礎自治体、NPO、コミュニティが一体となり、生活面の支援から、教育、医療、雇用、語学習得、地域参画まで切れ目のない支援が行われています。

研修では、多文化主義を支える現場視察や関係者との意見交換を通し施策動向の理解を深めるとともに、参加者とのネットワークを通して、日本の現状や課題を俯瞰し見直すことにより各々の地域での多文化共生施策に生かすことを目的としています。

対象者

- (1) 地方公共団体（都道府県及び市区町村）の職員
 - (2) 地域国際化協会の職員
 - (3) 地方公共団体や地域国際化協会の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等、又は市区町村国際交流協会の職員
- 定員：15名程度 ※英語の能力は問いません

費用について

クレアは研修期間中の集合場所と訪問先の往復の交通費を負担しますが、それ以外の旅費・宿泊費・ビザ取得料・航空保険料・食費などは自己負担となっております。

※地域国際化協会からの参加者（個人での参加を除く）については、地域国際化協会連絡協議会から食費以外、実際に要した費用の1/2以内の額を助成します。詳細はクレアのHPをご覧ください。

訪問先の例

※今年度の訪問先は調整中です

研修では、6日間にわたって、多文化共生の先進的な取組み等を実施している団体、政府や研究機関などを訪問します。



コミュニティ

ビクトリア州政府

ビクトリア州における多文化主義の概要及び公的機関の役割等について学ぶ



移民集住自治体

自治体を訪問し、行政やコミュニティの現場での移民に対する支援の取組みについて学ぶ

日本語教育施設

日本語のバイリンガル教育を行う州立学校を訪問し、多角的な視野・視点でものを考える能力をかん養する手法を学ぶ



教育



英語教育施設

英語を母国語としない生徒にサポートを行う州立学校を訪問し、その講義や、授業の手法を学ぶ



雇用
就労

成人教育、雇用・就労支援機関

成人移民に対し、言語教育サービス、定住支援、職業訓練などを提供する機関を訪問し、その取組みについて学ぶ



生活
支援

生活支援機関

障がい者や高齢者等に、日常生活や社会参加の支援を行っている機関を訪問し、その取組みについて学ぶ



防災

防災関係機関

防災関係機関を訪問し、災害時の情報提供とその多言語化や防災教育について学ぶ

詳細などは
ホームページ
をご覧ください



問い合わせ先

一般財団法人自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課

Tel: 03-5213-1725 Fax: 03-5213-1742

Email: tabunka@clair.or.jp HP: www.clair.or.jp